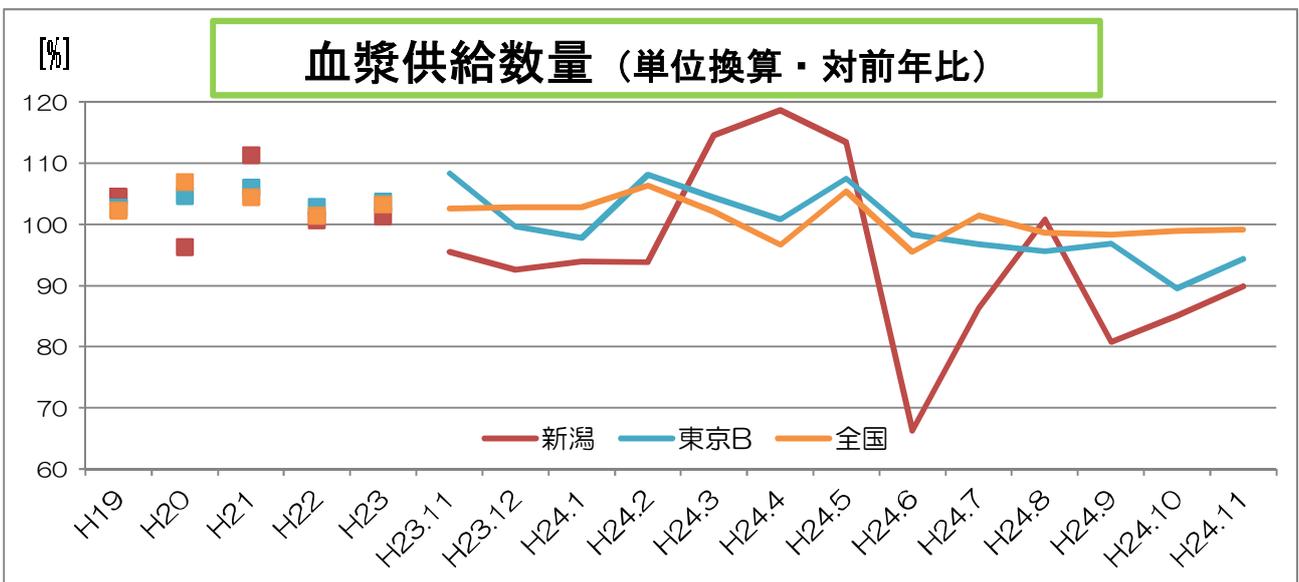
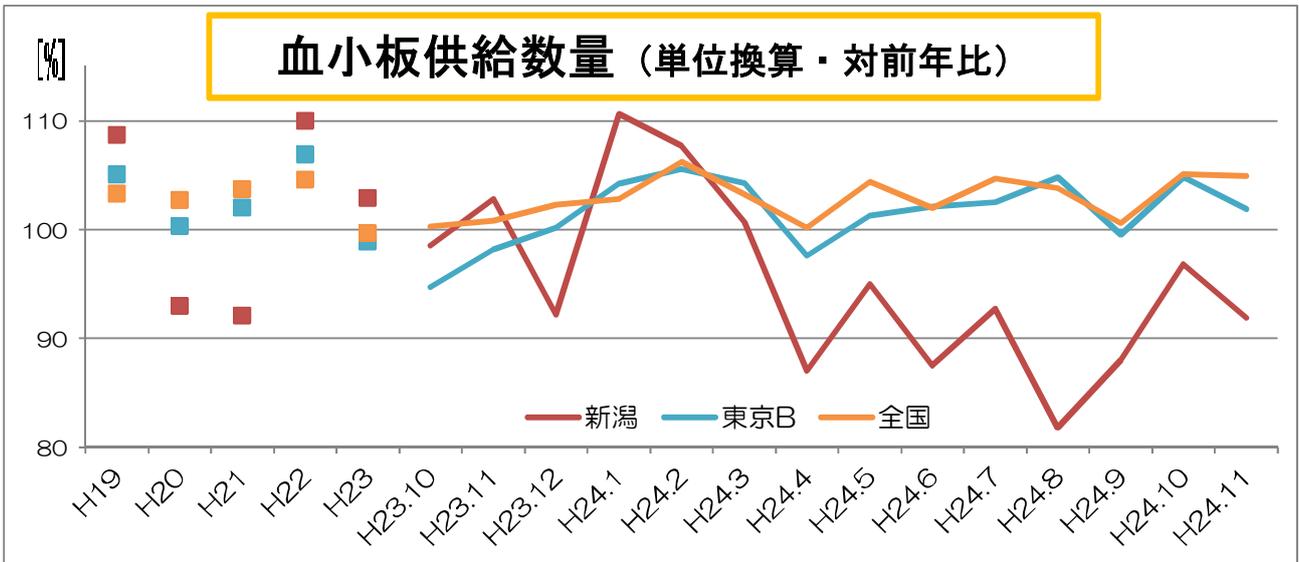
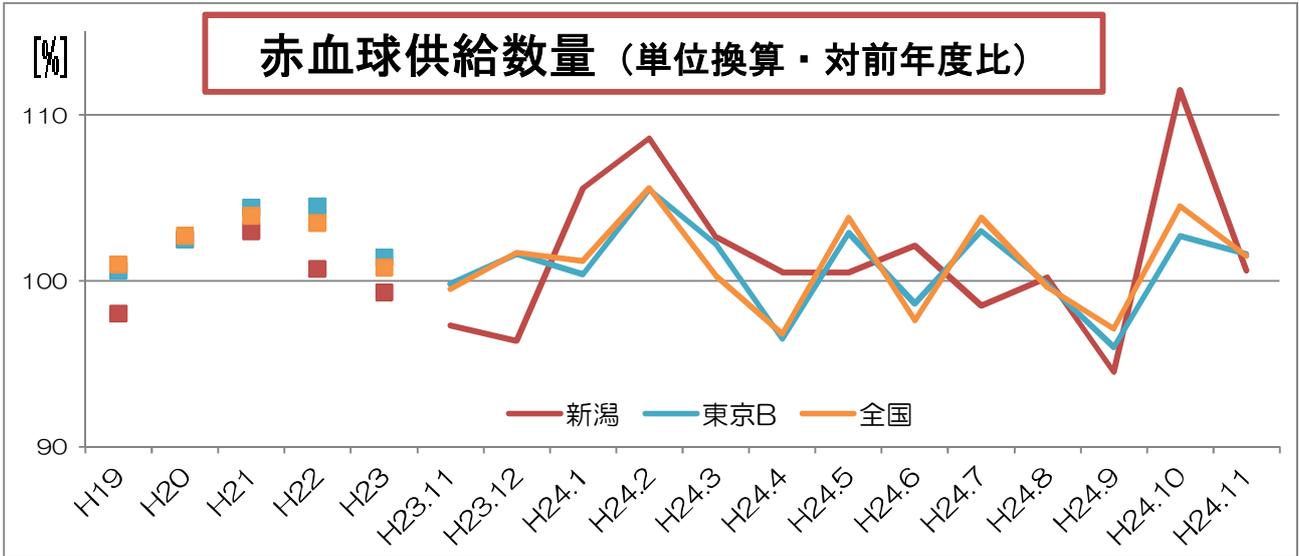
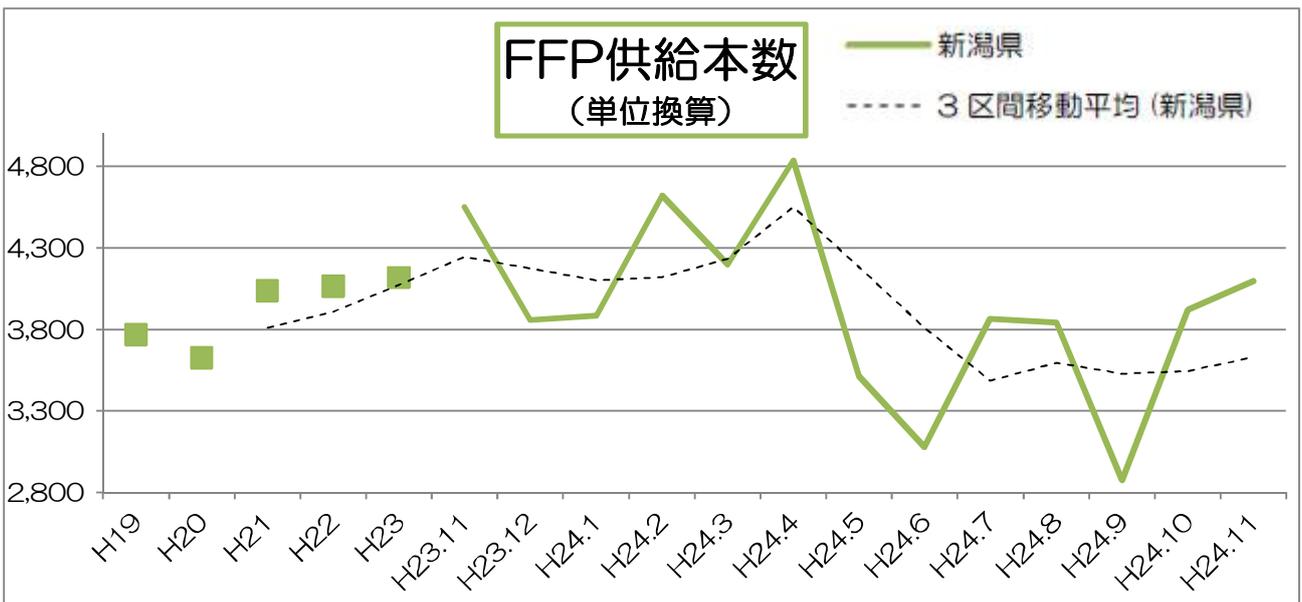
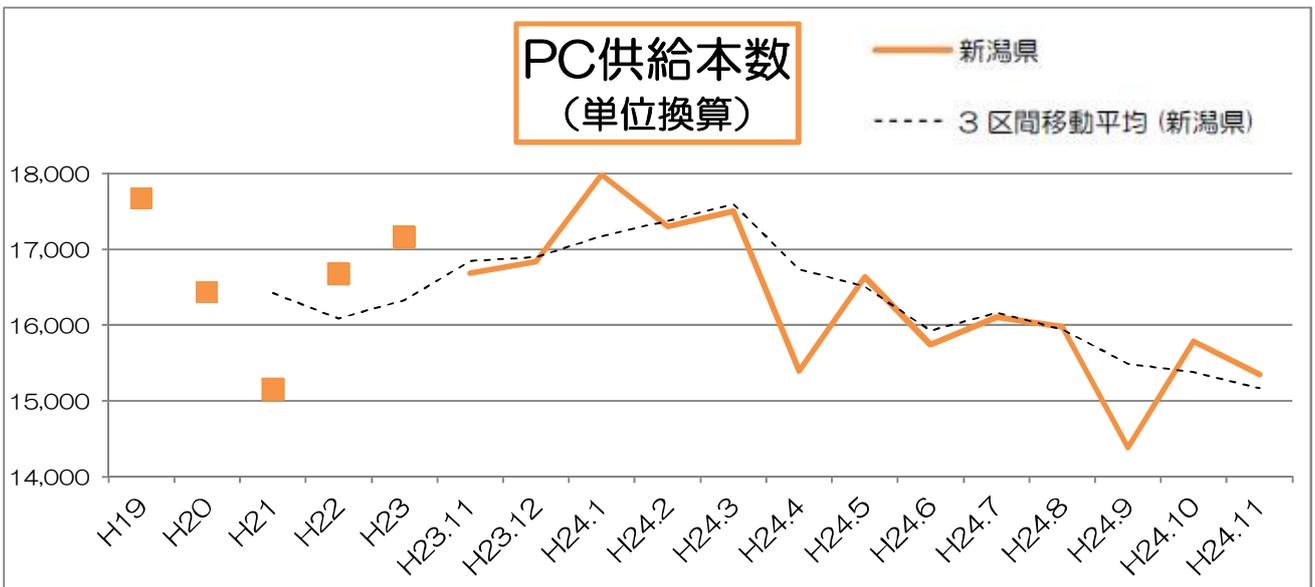
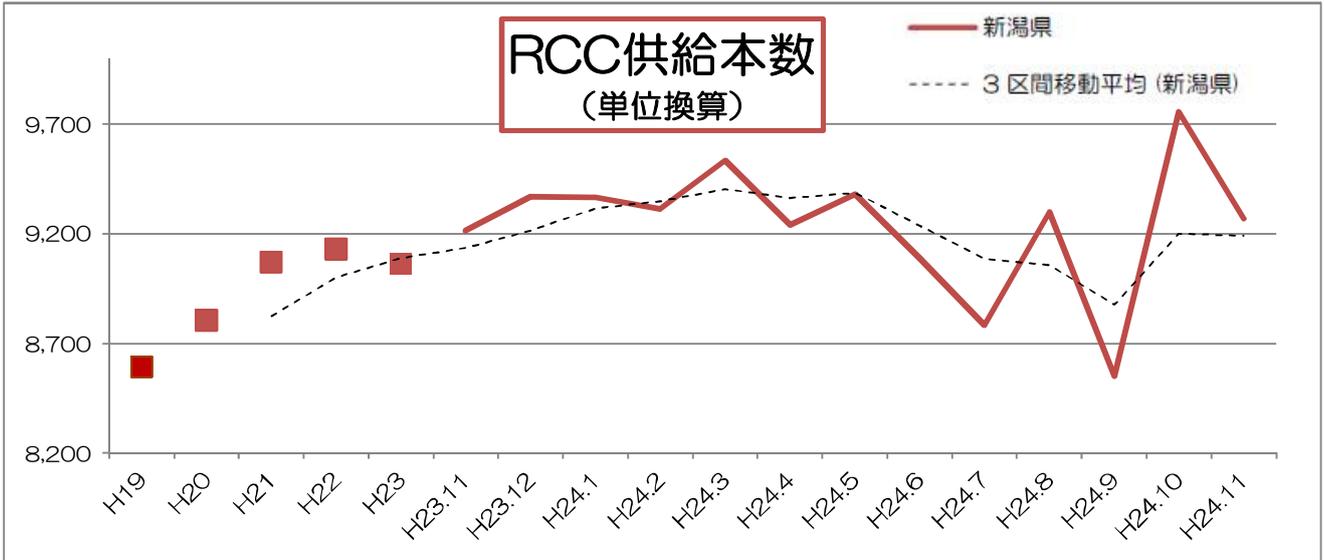


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。今月から過去 5 年(月平均供給本数)のデータ追加。





## H24 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆11 月の特徴：赤血球製剤(RCC)、血小板製剤(PC)は B 施設で今年一番の使用量になった。血漿製剤(FFP)の使用量は内科で増加。全体として輸血のべ人数は増加傾向だが、血液製剤の使用量や廃棄量は横ばい～低下傾向。今月から供給数グラフに過去 5 年(月平均供給本数)のデータを加えた。また 9 月の血漿製剤の廃棄率の数値を訂正した。

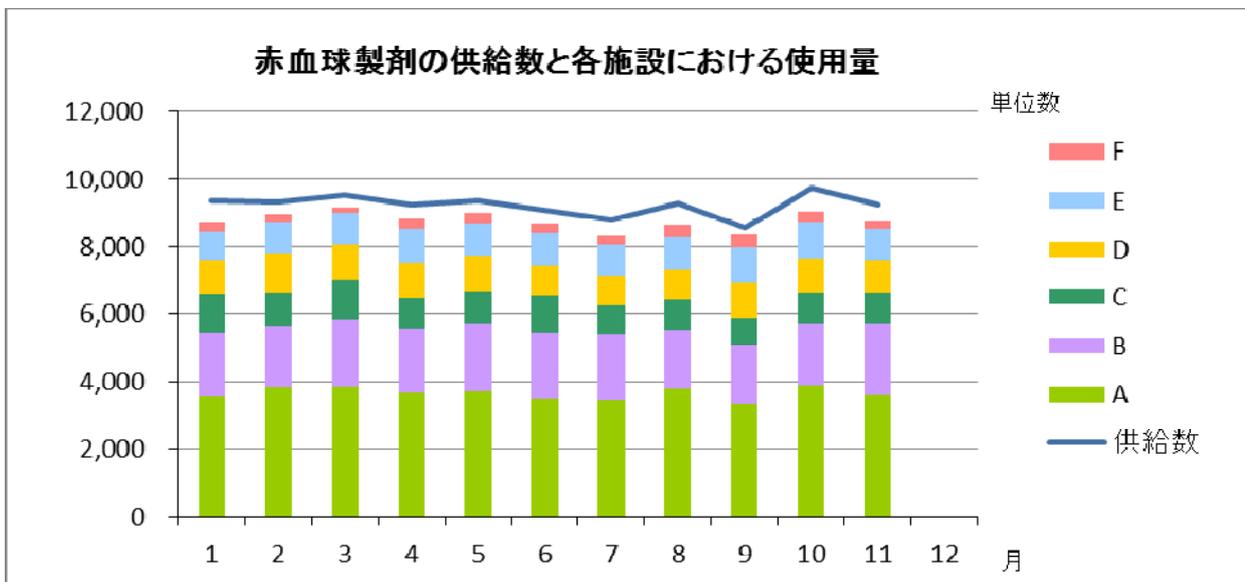
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,558
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	23	3,595
F	0～99床	31	1,646
計		82	15,720

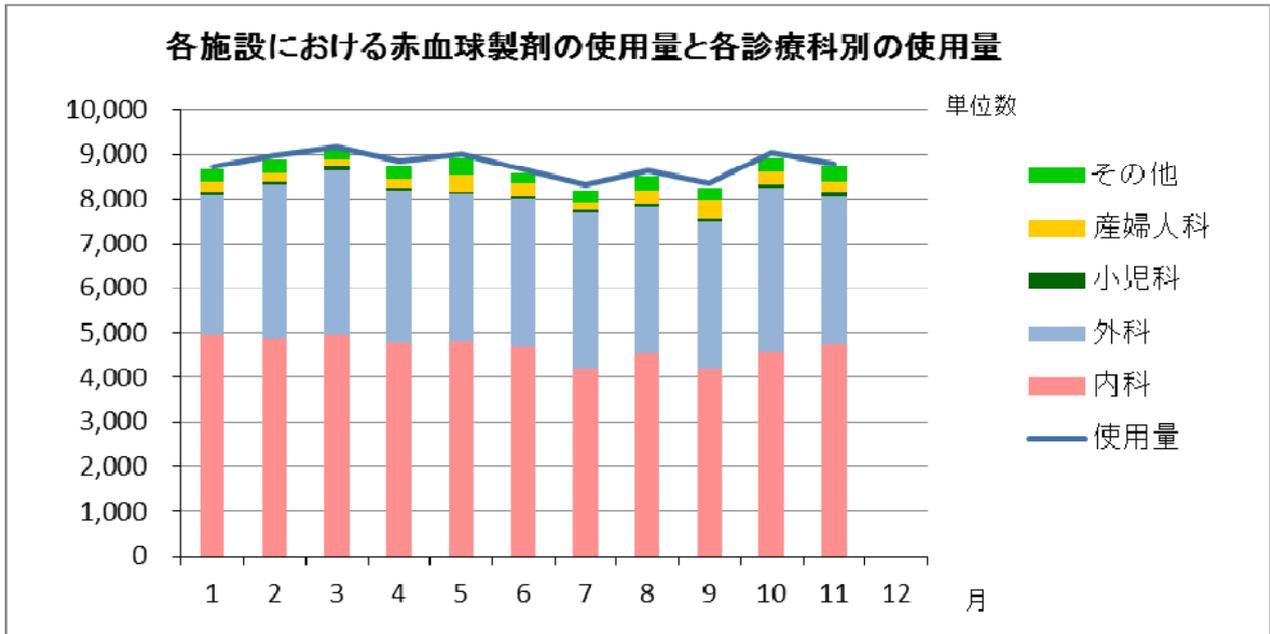
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,591	1,819	1,340	70	158	204	3,591	100.0
B	2,096	1,174	870	0	44	8	2,096	100.0
C	951	576	327	0	16	32	951	100.0
D	926	421	421	0	10	74	926	100.0
E	940	530	331	0	0	37	898	95.5
F	275	225	46	0	0	4	275	100.0



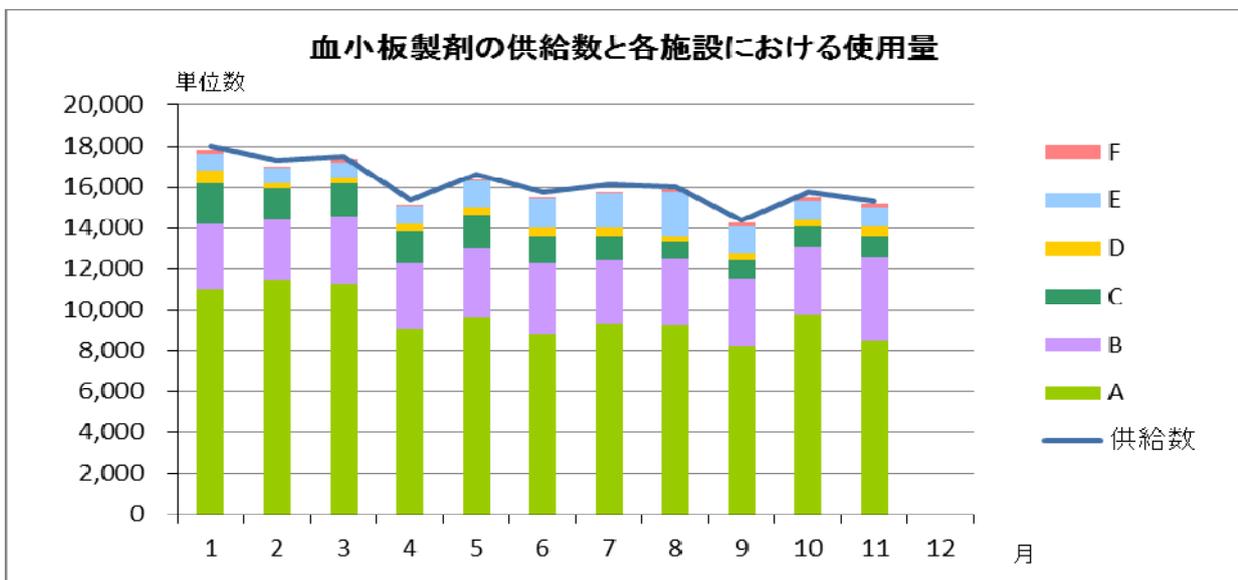


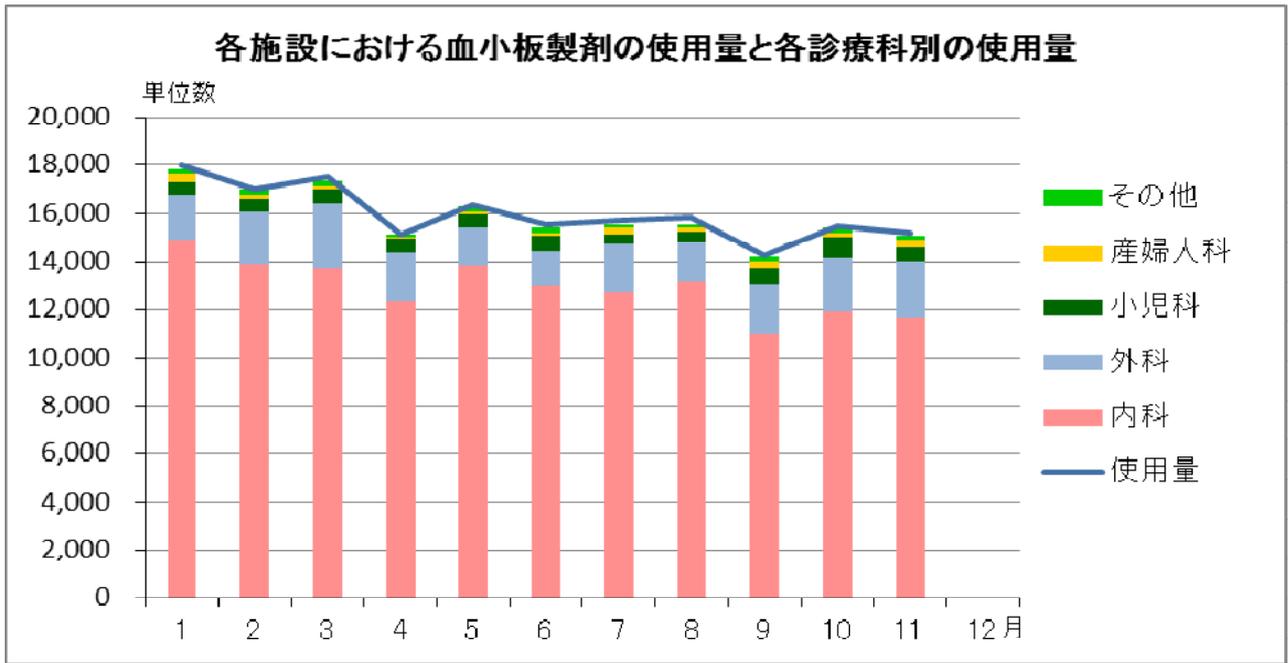
### ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	8,535	6,420	1,165	585	225	140	8,535	100.0
B	4,030	3,220	795	0	15	0	4,030	100.0
C	1,005	905	20	0	80	0	1,005	100.0
D	475	255	180	0	20	20	475	100.0
E	980	745	120	0	0	0	865	88.3
F	170	170	0	0	0	0	170	100.0



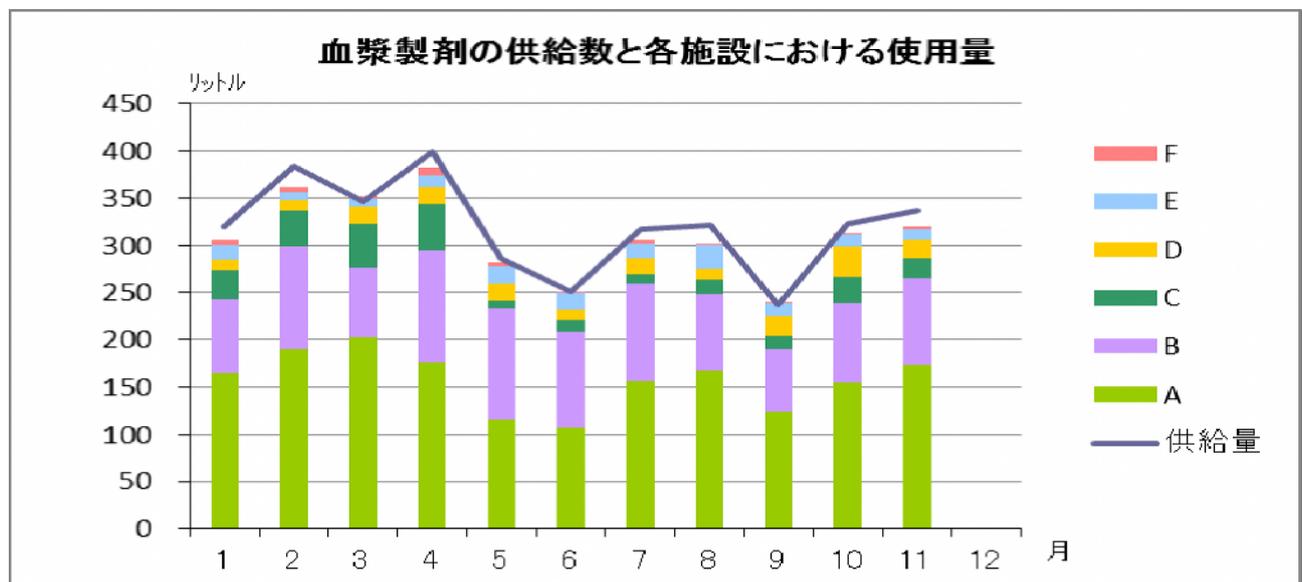


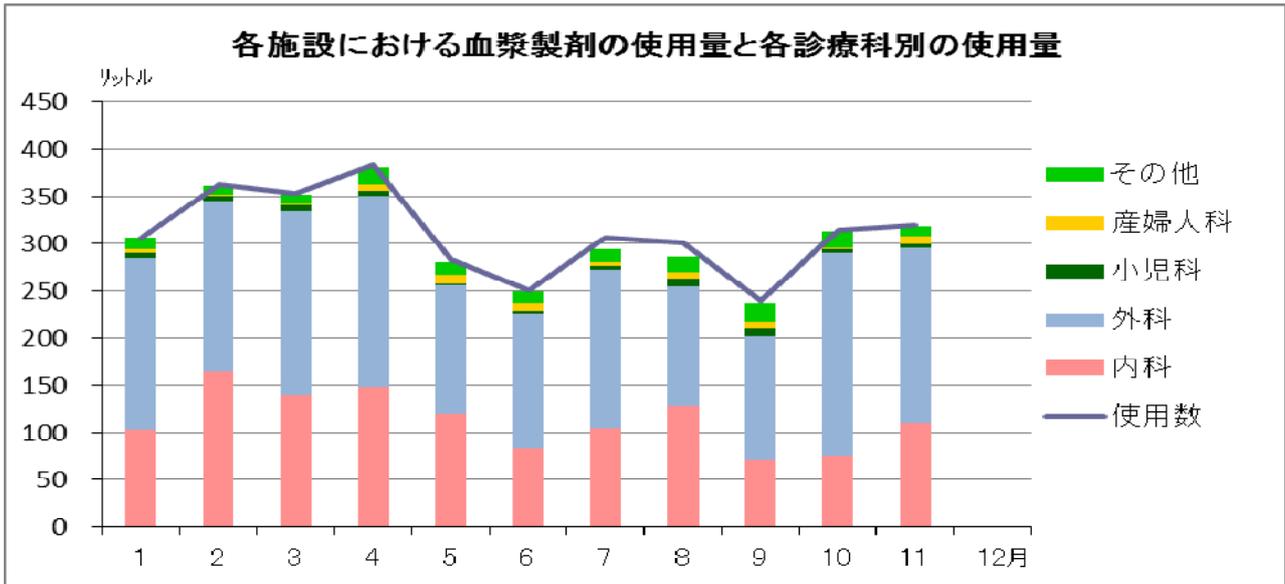
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	173.7	66.5	92.3	4.0	5.4	5.5	173.7	100.0
B	91.3	27.3	61.8	0.0	2.3	0.0	91.3	100.0
C	20.8	4.8	14.8	0.0	1.2	0.0	20.8	100.0
D	20.7	3.6	12.3	0.0	0.0	4.8	20.7	100.0
E	10.7	4.5	4.4	0.0	0.0	0.0	8.9	83.1
F	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	100.0



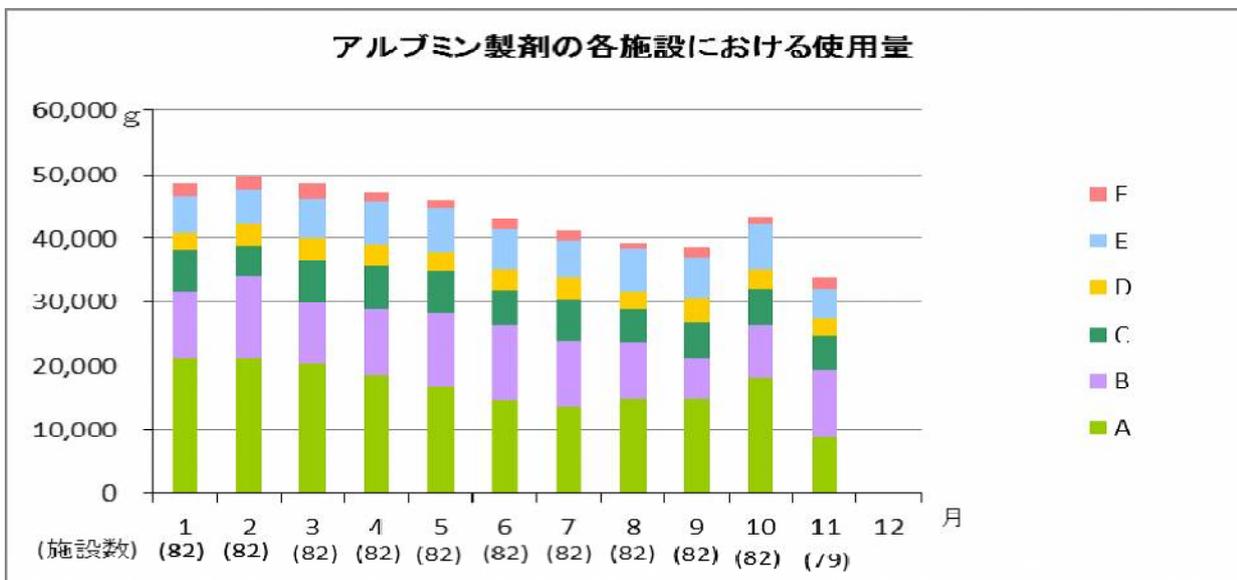


### ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤を使用した施設数と、使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (5/6)	8,701.5	3,246.5	4,127.5	22.5	580.0	25.0	8,001.5	92.0
B (5/5)	10,589.5	4,339.5	3,637.5	0.0	25.0	0.0	8,002.0	75.6
C (7/7)	5,444.5	3,259.5	2,147.5	0.0	0.0	37.5	5,444.5	100.0
D (9/10)	2,691.8	1,441.5	762.8	0.0	0.0	0.0	2,204.3	81.9
E (15/16)	4,617.5	2,143.0	1,074.5	0.0	0.0	0.0	3,217.5	69.7
F (12/12)	1,781.0	1,445.0	336.0	0.0	0.0	0.0	1,781.0	100.0

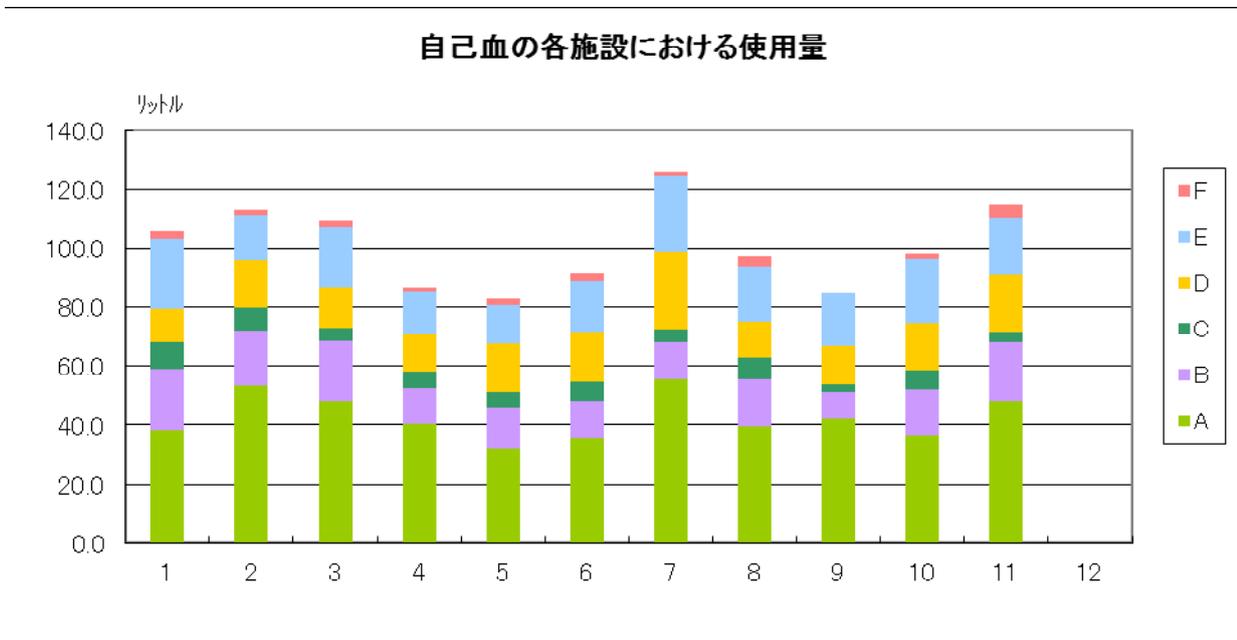


○自己血

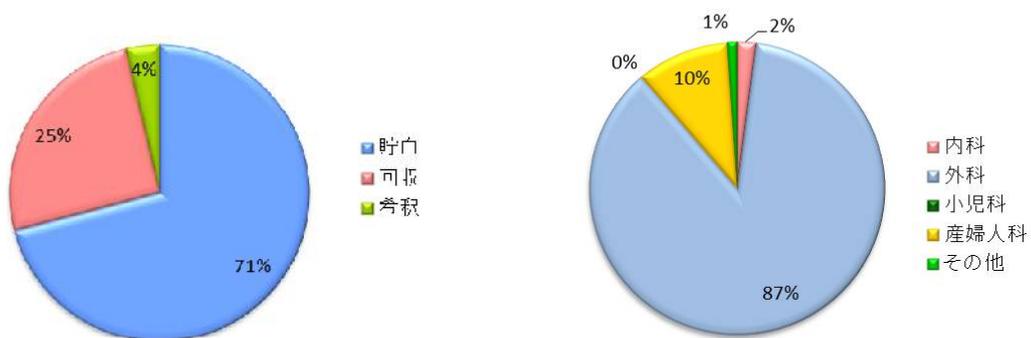
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別						全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	26.7	17.3	4.2	48.1	2.3	39.2	0.0	6.6	0.0	48.1	100.0
B	14.0	6.1	0.0	20.1	0.0	15.7	0.0	4.4	0.0	20.1	100.0
C	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	100.0
D	13.6	5.9	0.0	19.5	0.0	17.9	0.0	0.4	1.2	19.5	100.0
E	19.2	0.0	0.0	19.2	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	16.0	83.3
F	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	100.0
計	81.6	29.3	4.2	115.1	2.3	97.0	0.0	11.4	1.2	111.9	97.2



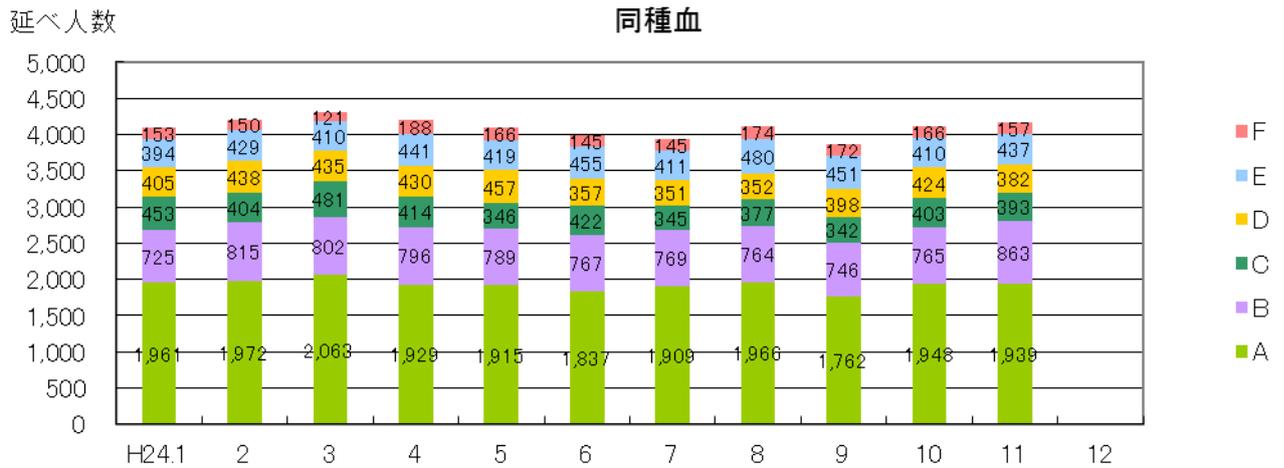
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

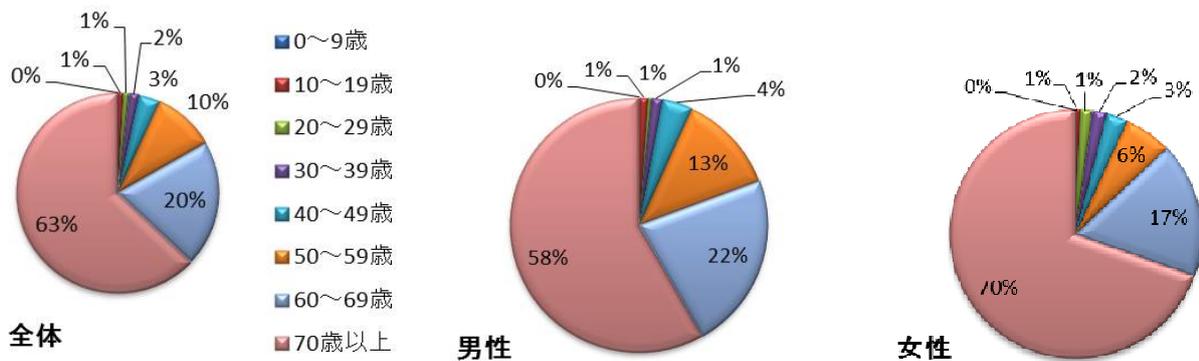
11月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,939	863	393	382	437	157	4,171
1床あたり	0.54	0.40	0.17	0.15	0.12	0.10	0.27
自己血	81	30	7	27	29	10	184
アルブミン	540	569	300	117	144	53	1,723

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

11月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	0	16	7	20	57	187	332	862	1,481
女	0	6	16	19	29	64	181	721	1,036
計	0	22	23	39	86	251	513	1,583	2,517

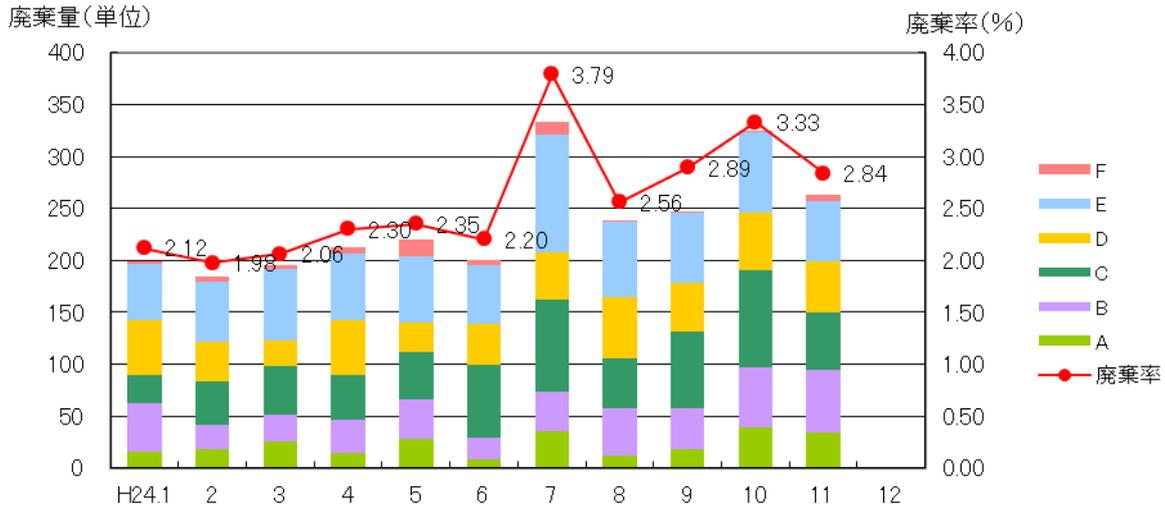


○血液製剤及び自己血の廃棄率

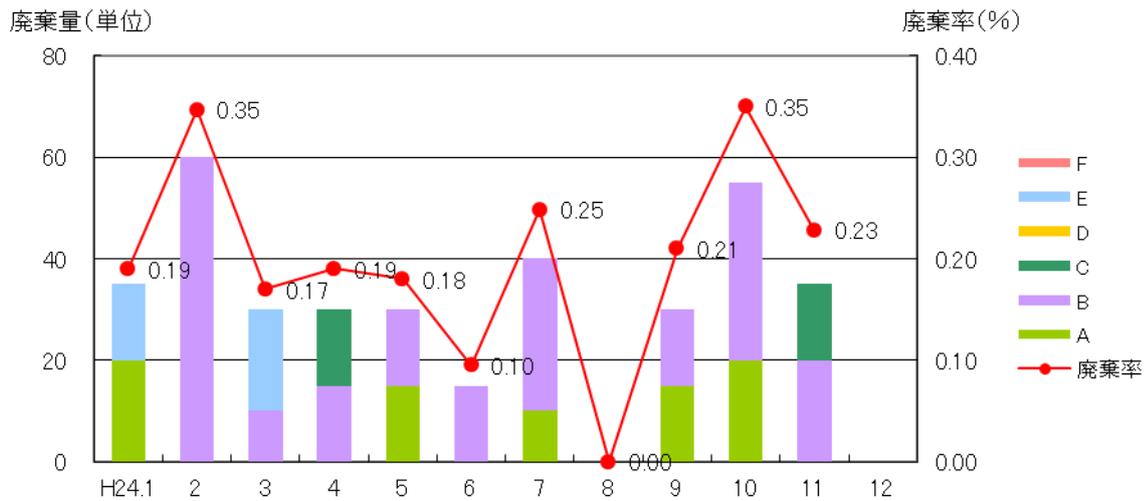
11月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	34	60	56	49	58	6	263
血小板製剤(単位)	0	20	15	0	0	0	35
血漿製剤(単位)	31.0	15.0	24.0	0.0	0.0	0.0	70.0
自己血(リットル)	2.7	1.4	0.8	0.8	1.6	0.0	7.3

※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR-1 は 1.5、FFP-LR-2 は 3、FFP-LR-Ap は 5 を本数に乗じたもの。

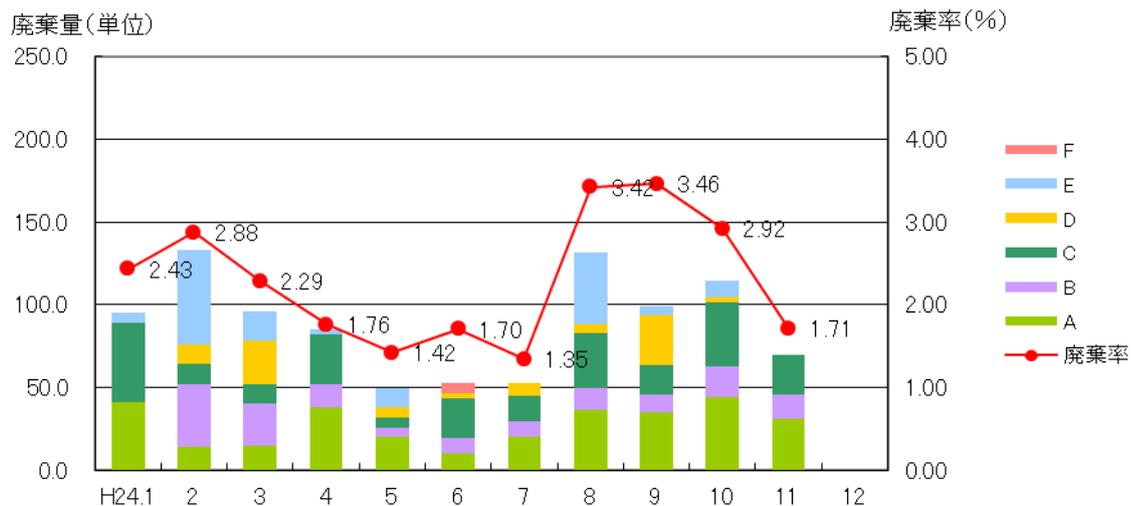
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

